

たの

議会だより

令和7年3月
議会定例会

No.202

2025.4.30

高知県 田野町

特集
農の力で地域を元気に！

《特集》農業従事者インタビュー	2
令和7年度一般会計予算	4
町政のここを問う！（5議員が一般質問）	10
議会のうごき	16

《特集》 農の力で地域を元気に！

田野町へ移住してこられ、新規就農された方、就農に向けて研修中の方に、インタビューをさせていただきました。



左から 石川毅さん、高橋泰斗さん、窪川聖也さん、千葉健二さん、千葉美治代さん

問 今までの農業経営（親から子への事業承継）とは異なる形で、田野町の農業経営に新しい形で（土地、農機具、施設がない）挑戦した、新規就農者の皆さんにお聞きします。

問 田野町の印象は

答 思っていたより田舎でなく、利便性がよく、飲食店もあり、住みやすい。

問 現状の農業での悩みや、課題は

答 農業資材や、材料費の高騰による経費の増加。

問 議会や行政に期待することは

答 子ども、子育て政策の充実や、若者に対する支援。農地の区画整理がされていないこと。また大規模でなくていいのでハウス園芸に適した農地の改良（敷地面積や方角）や整備。

問 今後の目標や、予定は

答 田野町の農業の後継者育成。

農業機械の設備投資や施設の規模拡大。収量の増加や、生育不良にならないための技術の習得。

問 田野町の担い手確保は

答 土地探しが、どの新規就農者でもネックになっており、四国一小さい町ということもあり、農地面積も少なく施設園芸適地も少ないので就農場所を田野町に限らず柔軟に対応すればよい。



千葉 健二さん・美治代さん ご夫妻

出身 名古屋市
田野町在住 2年目

ただいま
研修中

田野町へ移住と就農のきっかけは

田野町のナスに魅力を感じたから。
農業をしながらの田舎暮らしに
憧れたから。

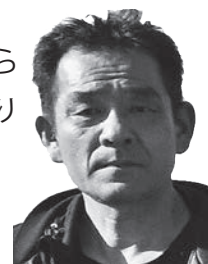


石川 毅 さん

出身 神戸市
田野町在住 17年目

田野町へ移住と就農のきっかけは

高校時代の親友が、田野町在住
だったから。
農業を始めたのは、他業種から
農業に転身し、農業を深く知り
たくなったから。



大学の同期生

窪川 聖也 さん

出身 南国市
田野町在住 12年目

田野町へ移住と就農のきっかけは

大学の農学部出身の3人の内、1人が田野町出身だったから。

実家が兼業農家で、栽培が好き
だった。就職にあたり、新規就農
を知り、やりたいと思ったから。



高橋 泰斗 さん

出身 富山市
田野町在住 12年目

田野町へ移住と就農のきっかけは

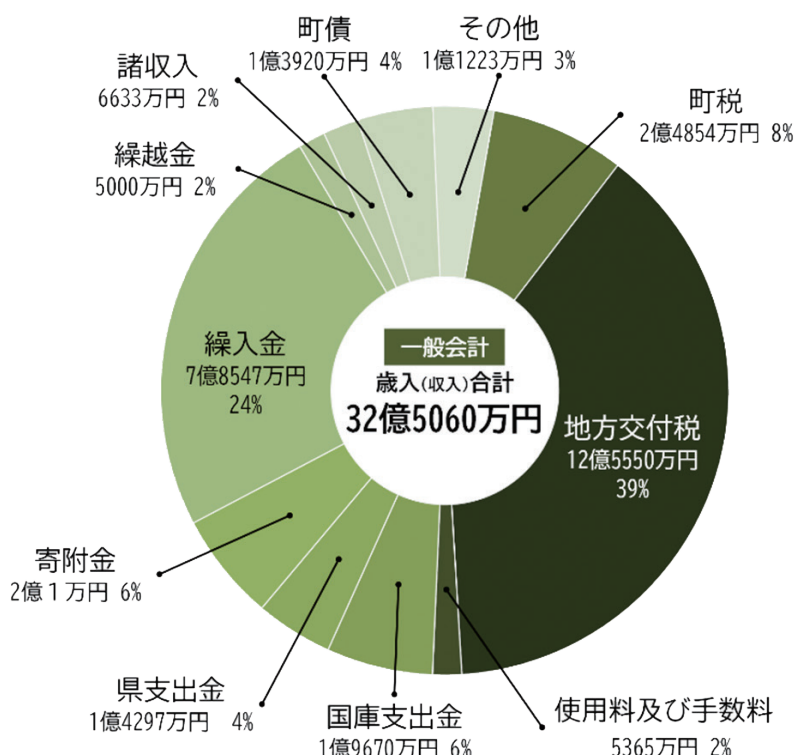
子どもの頃から観葉植物を育てる
ことが好きで、植物関係の仕事
をしたいと思っていた。
農学部で本格的に農業に触れて
やってみたくなったから。



令和7年度一般会計当初予算は 32億5060万円



3月議会定例会は、10日から13日までの会期で行いました。
町長の行政報告後、新年度予算の委員会審査等を行い、19議案を可決しました。
一般質問は、5議員が行い、農地の基盤整備や、公共施設の管理計画など町の考えを問いました。



一般会計予算の概要

当初予算は、基本方針として、町単独新規事業の予算計上を除く骨格予算で、前年度比較 5.5%の減となりました。

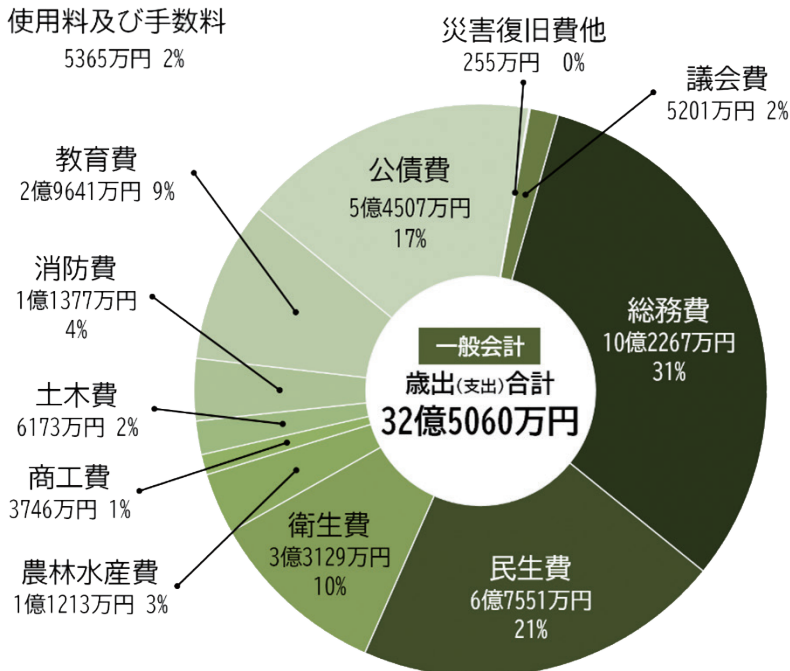
歳出の主なものは、人口減少対策として、たの暮らし生活応援事業 813 万円、就農者対策として、園芸用ハウス整備事業 4,290 万円、繰上償還分を含む借金返済として、公債費 5 億 4,508 万円などを計上しました。

特別会計予算

国民健康保険	3 億 9 4 3 0 万円
後期高齢者医療	5 5 9 0 万円

簡易水道予算

収益的収入	1 億 2 5 4 万円
収益的支出	7 9 6 2 万円
資本的収入	2 億 6 6 0 4 万円
資本的支出	2 億 9 0 6 7 万円



《各項目で万円以下、小数点以下は四捨五入》

令和7年度予算 **注目事業** は、

(結婚・出産・子育て) 支援の充実

若者暮らし応援事業

・結婚祝金

1組 20万円（諸条件あり）

・定住祝金

1組 30万円（5年以上居住）



【お問い合わせ】

田野町役場 住民福祉課
TEL 0887-38-2812

若者暮らし応援事業

・出産祝金

第1子 10万円（新規）

第2子 10万円（新規）

第3子 50万円（拡充）



移住定住促進新築住宅等建設奨励事業

【個人住宅】

区分	補助金額	上乗せ		最大 交付額
		夫婦ともに39歳以下	18歳未満の子どもがいる	
町内業者	<u>40万円</u>	+10万円	+20万円	<u>70万円</u>
町外業者	<u>20万円</u>			<u>50万円</u>

【お問い合わせ】

田野町役場
総務課
TEL 0887-38-2811

【民間賃貸住宅】※入居者要件の設定あり

区分(1戸当たり床面積)	補助金額	補助上限
25㎡以上55㎡未満	50万円/戸	500万円/事業
55㎡以上	75万円/戸	



一般会計当初予算の主な内容

7年度に行う事業

予算額

(内容)

・移住定住促進新築住宅等建設奨励金	790万円	(個人住宅や民間賃貸住宅建設に補助します。)
・価格高騰緊急支援給付金	1490万円	(非課税世帯に給付金を支給します。)
・たの暮らし生活応援金事業	813万円	(結婚祝金、出産祝金、育児奨励金を支給します。)
・園芸用ハウス整備事業補助金	4290万円	(就農支援のため施設園芸ハウス建設に補助します。)
・地域振興券事業費負担金	1210万円	(町内の商業の活性化目的で1人5千円給付します。)
・中学校茶園経営費	642万円	(樹木選定や草刈りを行い、茶園実習地を維持します。)
・小学校教育振興費	480万円	(小学校に電子黒板を購入し教育振興を図ります。)

予算委員会審査

質問 答 弁

【主な質疑を掲載します】



問 体験用製塩ハウス施設使用料26万円の内訳は。

答 積算内訳は、体験800円×300件、見学400円×50件を見込んでいます。

問 森林環境譲与税が毎年積み立てられているが、今後の使い道は。

答 積立金は現在400万円程度になっており活用実績はないが、6年度中央線周辺整備工事で建設した東屋の材料費に充当予定である。

問 地方交付税が前年度より1億円増額されているがその内訳は。

答 認定こども園建設時の公債費の償還が始まるこ

とに伴うもので7500万円、人件費の増加によるもの1500万円、人口減少対策事業によるもの1000万円それぞれ増額を見込んだものの。

問 移住促進PR事業委託料200万円の具体的な事業内容は。

答 県の人口減少対策交付金を活用して行う事業で、各部門、段階ごとに補助金等を整理し、分かりやすく、見やすいリーフレットを作成するもの。

問 たの暮らし生活応援金事業813万円の内訳は。

答 積算内訳は、結婚祝金として20万円×5組、出産祝い金第1子10万円×6人、第2子10万円×3人、第3子50万円×3組、育児奨励金の拡充による473万円を見込んでいる。

補正予算

一般会計（第7号）

総額40億4100万円
減額 4330万円

指定管理

老人センターと田野駅屋の指定管理者を指定

田野町公の施設に係る指定管理者を指定しました。

田野町老人福祉センター

「社会福祉法人

田野町社会福祉協議会」

指定期間

自 令和7年4月1日
至 令和10年3月31日

道の駅「田野駅屋」

「たの未来プロジェクト

株式会社」

指定期間

自 令和7年4月1日
至 令和9年3月31日

人事

固定資産評価審査委員会の委員を選任

安岡 雄造氏（再）

任期

自 令和7年3月30日
至 令和10年3月29日

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

【委員の選挙】

有澤 正吉氏（再）

松本 恵典氏（再）

西山 加江氏（新）

西岡かおる氏（新）

【補充員の選挙】

第1位 竹崎 美智氏（新）

第2位 南 寿雄氏（再）

第3位 大石 聡氏（再）

第4位 岸野佐和子氏（再）

任期

自 令和7年3月11日
至 令和11年3月10日

意見書

「精神障がい者保健手帳所持者に対する精神科医療費および一般医療費への助成制度（重度心身障害者医療助成制度）への意見書」提出

提出先

高知県 濱田知事





定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧表

議案 番号	件名	議決 結果	賛 成	反 対	採決状況 (○賛成 ×反対 *欠席)									
					中 野 益 夫	山 崎 豊 子	村 田 秀 作	神 山 大 亮	山 本 美 園	西 岡 恒 雄	桑 名 良 学	中 澤 長 顯	安 岡 数 徳	小 笹 孝 彰
議案 第1号	田野町老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 (採決に加わらない)
議案 第2号	道の駅田野駅屋の指定管理者の指定について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第3号	工事請負変更契約の締結について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第4号	田野町総合計画基本構想の策定について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第5号	田野町すこやか定住促進祝金等支給条例を廃止する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第6号	田野町若者たの暮らし生活応援金支給条例の制定について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第7号	田野町一般職の職員の旅費に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第8号	田野町職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第9号	田野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第10号	田野町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第11号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第12号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第13号	令和6年度田野町一般会計補正予算(第7号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第14号	令和7年度田野町一般会計予算について	原案可決	8	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
議案 第15号	令和7年度田野町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第16号	令和7年度田野町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第17号	令和7年度田野町簡易水道事業会計予算について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議員提出議案・陳情・意見書

議案 第1号	田野町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 (採決に加わらない)
議案 第2号	議員の派遣について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情 第1号	選択的夫婦別姓の法制化を求める陳情について	不採択	4	5	○	○	×	×	○	×	×	○	×	
陳情 第2号	精神障がい者保健手帳所持者に対する精神科医療費および一般医療費への助成制度(重度心身障害者医療助成制度)への意見書提出を求める陳情書	採択	5	4	○	○	×	○	○	×	×	○	×	
意見書 第1号	精神障がい者保健手帳所持者に対する精神科医療費および一般医療費への助成制度(重度心身障害者医療助成制度)への意見書案について	原案可決	6	3	○	○	×	○	○	×	○	○	×	



常石博高 町長

道の駅「田野駅」再整備に向け、住民説明会を実施

令和7年2月5日から3月3日にかけて、町内13地区（14集会所）で延べ185人の方々に参加いただき、道の駅「田野駅」再整備事業の住民説明会を開催いたしました。

現在、再整備事業にかかる概略設計の作成を行っており、基本計画策定時点より事業費の圧縮に努めていくとともに、今後において短期収支および長期収支シミュレーション調査や地域経済分析調査を行う予定であり、民間事業者からの提案と併せて運営管理費を含めた事業規模（建物規模）の検証を行い、整備

コスト、運営コストを明確化していくこととしております。

なお、今後の検討状況等を踏まえて令和7年秋から冬頃にかけて、再度、再整備事業に関する生産者及び住民説明会等を開催し、皆様のご理解を得ながら進めて参りたいと考えております。

改定作業が進む、総合計画・総合戦略

当町の最上位計画である「田野町総合計画」が令和6年度に最終年度を迎え、本年度は次期計画の策定に向けて改定作業を進めてまいりました。

町の振興に向けて基本理念と方向性を示す「総合計画」と、人口減少対策を柱に具体的な戦略を示す「総合戦略」を3月末の策定を目指しております。

人口減少対策のため11事業を計画

高知県が2月に発表した令和7年度の一般会計当初予算案では、市町村が活用する人口減少対策総合交付金の10億円が盛り込まれ、このうち5億8千万円は、独自事業に知恵を絞った市町村にのみ交付する「連携加算型」となっており、県下全34市町村で承認された事業が令和7年度から本格化することとなります。

当町の、具体的な事業として、「移住定住促進新築住宅等建設奨励金」、「空き家バンク登録等推進事業奨励金」、「空き家・空き店舗活用支援事業補助金」、「若者たの暮らし生活応援金」など、当該交付金の対象事業である「若者の定着・増加」、「婚姻数の増加」、「出生数の増加」に向けた全11事業を計画し、令和7年度の当初予算に計上しました。

田野町ふるさと納税、好調

令和6年度2月末時点でのふるさと納税寄附状況としましては、寄附件数4万2887件、寄附金額約5億2758万円と寄附金額が前年同期比で約155%と増加しております。

中間事業者を活用した市場調査等のマーケティングや返礼品取扱事業者協力のもと新商品開発・既存商品の量目、定期便展開等に取り組んだことが増加の主な要因であると捉えています。アマゾンの

ふるさと納税市場への参入による寄附も一定の増加につながったものと考えております。



広域行政（中芸広域連合）

保健福祉課と介護サービス課を統合し、高齢者施策を一体的に運用し、高齢・障害・子ども・生活困窮といった縦割りの制度を超えた、包括的な支援体制の整備に取り組めます。

ふるさと納税好調により

6年度寄附額は、

過去最高の5億円超

臨時会

(第1回)

1月21日

一般会計補正予算(第6号)の主な内容

歳入	(内容)
地方交付税	3855万円(普通交付税)
寄附金	1億円(まちづくり応援寄附金)
基金繰入金	4990万円(ふるさと応援基金)
歳出	(内容)
一般総務管理費ほか	3835万円(職員の給料・報酬・手当ほか)
財産管理費	1億153万円(ふるさと応援基金積立金ほか)
ふるさと納税推進費	4996万円(ふるさと納税贈呈品ほか)

・一般会計(第6号)
総額40億8430万円
追加1億9070万円

・特別会計
国保会計(第3号)
総額4億5396万円
追加6195万円



臨時会で決まったこと

議案の審議結果一覧表

議案 番号	件名	議決 結果	賛 成	反 対	採決状況(○賛成 ×反対 *欠席)									
					中 野 益 夫	山 崎 豊 子	村 田 秀 作	神 山 大 亮	山 本 美 園	西 岡 恒 雄	桑 名 良 学	中 澤 長 顕	安 岡 数 徳	小 笹 孝 彰
議案 第1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	8	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長 (採決に加わらない)
議案 第2号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第3号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第4号	議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	2	○	×	○	○	○	○	×	○	○	
議案 第5号	令和6年度田野町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 第6号	令和6年度田野町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ただ 5議員が質す

一般質問

ズバリ

今議会のテーマ

P11

中野 益夫 議員 ●農地の基盤整備は

P12

桑名 良学 議員 ●どうする、町の公共施設

P13

山本 美園 議員 ●道の駅再整備に町民は賛成多数？
●2期目の抱負・課題の実行度は

P14

山崎 豊子 議員 ●独りになっても地域で暮らしていくための支援体制は

P15

神山 大亮 議員 ●ふれあいセンター喫茶スペースの活用は
●文化財調査委員の拡充予定は

町政のここを問う！

解説

一般質問…議員が田野町の行政全般にわたり町長などに対し事務の状況や将来の方針などの説明を求め、所信や疑問を質すること。

農地の基盤整備は

課長——有効な事業を活用し、進めていく



中野議員

担い手が農地を管理しやすいうように、簡易な基盤整備についても進めていく必要があると思われるが、今後田野町としてどのように対応するのか。また、今後どのように実行ある農業政策を進めるのか伺う。

西山産業建設課長

本町では「農業経営基盤の強化の促進にかかる基本構想」において、本町の農業が持続的に発展していくために進める取り組みの方向性について、施設園芸の生産力向上、集落営農組織の設立・法人化、新規就農者の確保・育成、基

盤整備の促進など14項目を掲げ取り組んでいくこととしている。

地域農業を持続的に発展させていくためには、農地の集積・集約化が重要であり、それを推進していくためには、区画整理を行い、生産性の高い農地を確保することが必要不可欠である。

あぜの除去や簡易な造成など、小規模な区画整理は有効な手段と考えており、ニーズに応じて、有効な事業を活用し、実施していく必要がある。

中野議員

池谷川流域や上地地区周辺でも不耕作の田畑が放置されている。町内の遊休農地面積を問う。

西山産業建設課長

以前から耕作見込みがない農地も含め、直近の資料で17haである。

中野議員

地域計画では10年後の耕作者を農地ごとに特定することとしているが、担い手が未定の農地の割合、将来の担い手確保についても問う。

西山産業建設課長

地域計画の目標地図において、担い手が未定な農地は、平野部で約5割、中山間部で約2割程度となっている。兼業が多く、高齢化等による離農も生じている。※半農半Xの兼業農家の育成も重要であると考えている。

中野議員

ふるさと納税を意識した米作りの機運が高まっている。水田農業に対する施策はどうか。

※半農半X

農業と他の仕事を組み合わせた働き方

西山産業建設課長

単独事業で水稻に係る耕作放棄地対策事業を実施している。水稻は面積的にも耕作放棄地の解消に有効であり、支援を続ける。

中野議員

専業・兼業を問わず、横断的な施策の拡充が待たれる。地域計画を実現していく中で、磨き上げた施策の検討を。

常石町長

農業機械の更新は経営継続の支障となっている。組織化など考える段階にある。米相場が上がり、機運は盛り上がっているが、物価高もあり維持経費の支出は単独農家では限界である。一つの地区では、集落営農の取り組みを進めている。次のステップを切り開くことが、本町の農業の課題と思っている。



どうする、町の公共施設

課長——財政状況を考慮し、用途廃止や統廃合



桑名議員

平成28年に計画した公共施設等総合管理計画について本町の財政状況と人口見通しを勘案し、計画通りに行えているか。

山中総務課長

当計画の目標の一つに、計画期間中に延床面積の約8%縮減を目指すことが設定されているが、現時点において縮減は進んでいない。

維持管理面において、公営住宅や橋梁、簡易水道給水管など、長寿命化を目的とした取り組みをこれまでも行っており、中長期的なランニングコストの軽減に努めている。

桑名議員

耐震化未実施の公共建築物の対応は。

山中総務課長

対象となる建築物の構造や用途等を勘案のうえ、診断の必要性を含め検討する。

桑名議員

公共建築物の集約化の考えは。

山中総務課長

現時点において、具体的な計画はない。

しかし、残りの計画期間となる今後20年では、施設の老朽化度合いや人口構成も含めた地域の状況、そして施設を運営する体制や財政状況を考慮すると、集約化の必要性も出てくることから、長寿命化対策を基本とし、各施設の在り方を検討する。

桑名議員

平成28年3月の時点で、公共施設が56施設67棟であった。現状は。

山中総務課長

新たなものとして、上ノ岡の公営住宅が13棟、医療従事者住宅が6棟、空き家改修住宅が3棟、認定こども園、防災センターと、計画策定当時には反映されてなかった避難タワー2基などが建築されている。

桑名議員

人口減少により、地方交付税等の減少が見込まれるなか、公共施設の維持管理をどう考えているか。

山中総務課長

町の財政面で申し上げると、町の税収となる住民税や固定資産税は減少傾向にある。また、地方交付税は、国

が示す地方財政計画の在り方によって交付税の額は大きく左右される。そのような状況も見通しながら判断していく必要がある。

公共施設については、地域の状況がどうかを含め有効活用がなかなか見込めない施設については、用途廃止、統廃合等も踏まえたうえで、検討していく。

桑名議員

集約化等するとすると、住民の方との話し合いが必要になると思うが。

村上副町長

住民生活に影響する施設については、将来どうしていくか、その施設の在り方など、しっかり住民の声を聞きながら判断していく。



なんとかせんといかん、旧消防屯所

道の駅再整備に町民は賛成多数？

町長——不安視の声が多い



山本議員

町長は、2月5日から3月3日までの巡回説明会で町民の思いをつかめたか。

常石町長

事業費17・6億円は、基本計画策定時のアンケートやワークショップの結果を最大限反映し、あらゆる機能を盛り込んだ形で建設面積を算出したものであり、大きな費用になっている。導入機能等については、現在精査中であり、計画時点の建築面積2100㎡から1300㎡程度に削減することで事業費についても圧縮していくこと等を検討中である。

山本議員

説明会で町長のこの事業にかける情熱が伝わったと思うか。

常石町長

現在検討中の部分が多く、皆に納得してもらえない説明が十分にできなかった。今後は、町民の不安視する部分について、精査検討を重ね、次回の説明機会に報告したい。

山本議員

町民の不安除去のために、今後の対策は。

常石町長

事業費の圧縮に努め、短期・長期の収支シミュレーション調査や地域経済分析調査を行い、整備、運営コストを明確化していく。
数値ができればいい、議員と協議し、本年の秋から冬頃に、生産者及び住民説明会を開催

したい。

山本議員

指定管理者への契約条件として、最低で何年間を考えているか。

常石町長

現時点で参加意欲のある民間事業者4社とリスク管理等を対話したが、15年程度を考えている。

事業者の撤退リスクを低減する方法として、運営事業者が撤退を表明する場合は、新しい事業者を準備することを事業者の責任として契約に盛り込む案等も検討中である。



施設の老朽化など課題が多い「田野駅屋」

2期目の抱負・課題の実行度は

町長——2期目の自己採点 60点



山本議員

農業法人設立は。
大野台地に数千万円の補助金で機械を買ったが、大野以外の放棄農地対策は。

常石町長

大野地区で農事組合法人を4月に設立見込みである。
耕作放棄地対策は、各地域の特色に応じた支援が必要と考えている。

山本議員

人口減対策の実績は。

常石町長

移住者数の目標値300人に対して、本年2月までの実績値は263人である。
幅広い施策を総合的に実施していくことが重要であると考えている。



独りになっても地域で暮らしていくための支援体制は

課長——地域で見守る共助の体制づくりと考える



山崎議員

住み続けたいと願う高齢者の独り暮らしの方への見守り、支援体制を問う。
個人の状態にもよるが頼れる身内もない場合を想定して問う。

西山住民福祉課長

町の全1260世帯の内、独居高齢世帯は365世帯で約28%（2月現在）、独居を含む65歳以上の世帯は542世帯で43%となる。

基本的な支援体制は、本人、家族、地域から相談があれば町、社協、広域連合の地域包括センターが情報を共有し、地域で日常生活を送れる

よう、関係機関などにつながるなどしている。

町と社協は、緊急通報装置の設置、サロン活動への参加の声かけ、安否確認を兼ねた配食サービス、軽度生活援助事業、民生委員による訪問活動をしているが、行政の支援には限りがあるため、地域内で見守る共助の体制づくりが最大の支援体制になると考える。

山崎議員

アンケート調査では、住民の66・9%が住み続けたいと回答。

高齢者が地域で安心して楽しく生活する姿を見てこそ、若者も住み続けたいと思う。認知症になっても地域で暮らしている支援体制も見えてきている。

サービスが充実しているがために地域住民がどう関わっていけばいいのか分からない

い。支援体制ができている中で、地域でのつながりを推奨しているが地域住民はどのように関わればいいのか。

西山住民福祉課長

地域や近隣住民と距離を取りたい方もいることから、地域で一步下がって見守る取り組み方もあると考える。

気になる方の情報提供があれば、行政としてその状況に応じて関わり方を検討していく。



民間の配食サービスの活用



ふれあいセンター喫茶スペースの活用は

次長——賃借に向けた諸整理を行う



神山議員

ふれあいセンター別館1階の喫茶スペースが閉業してから1年近くになる。喫茶スペースは閉じられたままになっているが、設備面及び制度上ともに賃借できる状況にあるのか。

ることが求められる。

神山議員

以前の飲食業が閉業してから募集をしてないがその理由は。

西山教育次長

飲食業の運営が可能と考えられる事業者からの相談がなく、一律に公募をすることが最善とは限らない。利用の希望があれば意向も把握しながら柔軟な対応を検討する。

神山議員

あの場所で飲食業を望む町民の方も一定数あると考えているが要望など届いているか。

西山教育次長

飲食業の再開を希望する住民からの具体的な要望は届いていない。しかし、ふれあいセンター別館1階という施設が未活用であることは町の財産を有効活用できていない状況であると考えている。飲食業以外の利用も含め施設の適正な利活用を進めていく必要がある。

次長——人材の発掘と育成に取り組み確保に繋げる

神山議員

田野町では文化財の調査、保護、普及に関わる人材は現在1名のみである。その理由は。

西山教育次長

当町では田野町文化財保護条例に基づき文化財調査会を設置している。専門的な知識や経験を要し、適任と思われる方には声をかけているが高齢や負担面を理由に承諾いただけていない。

また、町内の文化財は一定の資源が既に登録されており、新たな調査活動の機会が少なくなっていることも背景にある。

現在は調査委員の実質的な役割は、県などで開催する会議や研修への参加にとどまり積極的な活動が行われていない。

神山議員

教育委員会として人材育成のための研修や勉強会を開催する予定はないのか。

西山教育次長

現在のところ教育委員会主催での研修や勉強会の開催は計画していない。

まずは当町の歴史や文化に関心を持つ人を増やし、人材の発掘や育成につなげていきたい。

文化財は地域の歴史や文化を未来へ継承する役割があり、文化財の保護や活用などについては行政のみならず、地域全体で考える課題である。

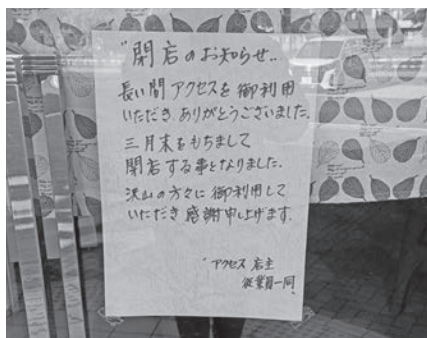
西山教育次長

設備等に関しては既存設備が残されており一定の活用の可能性はあるが、使用に際しての点検や調整、一部改修等が必要であると考ええる。

制度上では利用の方向性と条件の整備が必要であり、賃借に向けた募集の条件、契約形態、公募の可否を明確にする



閉まったままの別館1階



閉店のお知らせ



守りたい町の文化財

議会を傍聴してみませんか

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されています。今後の町の方角性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

次回定例会は、**6月中旬** 開催予定です。

詳しくは、
議会事務局まで

TEL 0887-38-6966



議会のうごき

主な活動をお知らせします。
なお、行事名は一部省略しています。

1 月

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 3 日 成人式 | 15 日 中芸地区町村長・議長及び商工会正副会長
意見交換会 |
| 9 日 広報編集委員会 | 21 日 第1回臨時議会
議員勉強会 |
| 12 日 消防出初式 | 30 日 安芸・室戸地区農村女性リーダーのつどい |
| 14 日 広報編集委員会 | |

2 月

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 日 南国土佐観光びらき | 21 日 高知県町村議会議長会総会
高知県町村長・町村議会議長大会 |
| 8 日 北川道路(和田トンネル) 開通式 | 高知県町村長・町村議会議長意見交換会 |
| 14 日 海部郡・安芸郡議長連合会中央要望
県選出国會議員との意見交換会 | 25 日 議会運営委員会
全員協議会 |
| 17 日 海部郡・安芸郡町村議会議長・副議長研修会 | 27 日 安芸広域議会 |
| 18 日 全国議長会議会広報クリニック | |

3 月

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 3 日 全員協議会
合同常任委員会
広報編集委員会 | 17 日 中芸広域連合議会 |
| 10～13 日 第2回議会定例会 | 18 日 認定こども園田野っ子卒園式 |
| 12 日 田野中学校卒業式 | 21 日 田野小学校卒業式 |
| 14 日 広報編集委員会 | 24 日 ごめんなはり線活性化協議会 |
| 15 日 高知県東部自動車道開通式 | 26 日 議員勉強会 |
| | 27 日 全員協議会 |